

ほん×まちフェスタ

～ラブラブライブラリーな5日間～



19日(土)
トークセッション
「ゆっくり、のんびり。
ぎふで暮らそう」

子どもたちとの遊びや
自然の良さ。ゆったり
と語りあいました。

20日(日)
ワークショップ
「消しゴムはんこ作り」

真剣なまなざし！
世界にひとつのはんこが
できたよ。



21日(月)
ブックトークショー
「本がつなが、ひととまち」
&
ワークショップ
「みんなのライブラリー」

「旅」をテーマに探した本を紹介！それぞれの「旅」を見つけました。



22日(火)
ワークショップ「活版印刷」

レトロな活版印刷の機械が
不思議と中央図書館にマッチ。
素敵な葉が完成！

23日(水)「わんこカートの命名式」

夏休みに子どもたち応募してもらった 1294 通の愛称の中から
20通を選び、最終投票で
愛称を決めました。

愛称は『きらら』です。
この愛称を考えてくれた
子が発表会に来てくれて、
「わんこの目がきらき
らしているから『きらら』
と名付けました。」
と話してくれました。



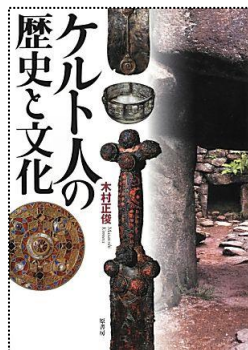
予約

BEST
5

順位	タイトル	著者	請求記号
1	火花	又吉 直樹	F マタ
2	あの家に暮らす 四人の女	三浦 しをん	F ミウ
3	スクラップ・アンド・ ビルド	羽田 圭介	F ハタ
4	流	東山 彰良	F ヒガ
5	考えない台所	高木 えみ	596 タ

ハロウィン

『ケルト人の歴史と文化』



木村正俊／著
原書房
(230.3 キ)

ハロウィンの起源は二千年以上前のケルト民族の祭りとされて
います。ケルト人に興味を持ったのなら、こちらの本がおすす
めです。謎と神秘につつまれたケルトの知られざる豊かな文化を
も解いてみましょう。

『マイ・ヴィンテージ・ハロウィン』



新着図書

マリオン・ポール／著
グラフィック社
(386 ポ)

日本でも年々大きな催しとなっているハロウィンですが、そも
もハロウィンってどんなイベントなのでしょう？
ハロウィンの由来、伝説、モチーフ、そしてイタズラや占いに詳
しくなりましょう！
ページをめくるたびにあらわれる雰囲気のある挿絵も必見です。

『ハッピーハロウィンパーティー』



主婦の友社／編
主婦の友社
(385.9 ハ)

今年はハロウィンパーティーを開いてみませんか？飾りつけか
らパーティーメニュー、お子さんの仮装用の衣装の作り方も多く
載っています。この本でハロウィンを楽しみましょう！

※紹介している本の写真は出版社の許可を取って使用しています

イベント告知

ビブリオバトル

「群雄割拠の書評王決定戦」

- ・エキシビジョンマッチ
- ・ビブリオバトル(市民参加)



日時：10月10日(土) 13:30~16:00

場所：ぎふメディアコスモス みんなのホール

講師：坂本 牧葉氏

(岐阜市立女子短期大学 専任講師)

チャンプ本を紹介した方には図書カード1,000円分をプレゼント!

『めざせ直木賞作家!ぼくのわたしの ショートショート発表会』

日時：10月11日(日) 14:00~

場所：ぎふメディアコスモス みんなのホール

ゲスト：朝井 リョウ氏(直木賞作家)

地元の中高生の自作短編小説の発表会を行います

トークセッション

「ゆっくり、のんびり。ぎふで暮らそう。」

第2回

「木育ってなに?木のある暮らし」

日時：11月3日(火・祝)

13:30~15:00

場所：ぎふメディアコスモス

かんがえるスタジオ

ゲスト：松井 ときなり 勅尚氏(森林文化アカデミー教授)



開館日カレンダー

2015年 10月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

は図書室休館

2015年 11月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

は全館休館

中央図書館 262-2924

長森図書室 240-2702

分館 268-1061

柳津図書室 388-2026

長良図書室 233-8170

東部図書室 241-2727

西部図書室 234-1633

<http://www.g-mediacosmos.jp/lib/>



岐阜市立図書館だより

一般版

2015年 10月号

ほん×まちフェスタを終えて



本がひととまちをつなぐ。
図書館もそのつながりの中にいます。

ブックトークショー「本がつなぐ、ひととまち」

シルバーウィークの5日間の図書館利用者はなんと2万8045名。まるでオープン時のような賑わいでした。

私がうれしかったのは、参加された方が「本を読むことは私的な個人的作業とだけ考えてきたけれど、図書館はそれぞれの本への思いをひとに伝えたり、みんなで共有しあったりできる場所だったんだね」と感想を述べてくれたことでした。本を通してひとの思いがまちへと広がっていく。本がまちを彩り、私たちの暮らしをより居心地のよいものへと変えていく。

そんな可能性がここにはあるのかもしれない。

岐阜市立図書館 館長 吉成 信夫